

待機電力を知って、もっと節電！！

節電の基本は、使わないときは電源をきることでありますが、実は、電気製品の多くは、プラグをコンセントにつないでおくだけで電力を消費しています。

モニター表示や内臓時計、メモリー維持、あるいはリモコンの指示待ちなどで、使っていないのに消費してしまう電力の待機電力（待機時消費電力）と言います。今回は財）省エネルギーセンターのデータを基に、電気製品別に待機電力の減らし方や、節電のポイントなどをご紹介します。



財）省エネルギーセンターの平成20年度待機時電力調査によると、家庭1世帯当たりの待機電力は、年間で285kw、全体消費電力の約6%に相当します。これは、電気料金の約6,275円に当たり、省エネや家計の観点から見過ごせない数値となっています。

電気製品を使い終わるたびにコンセントからプラグを抜くのが面倒という方もいらっしゃると思います。そんな時に便利なのが「スイッチ付タップ」です。キッチンやパソコンを使用する部屋など、電気製品が集中している場所では、タップのスイッチを切るようにすれば手軽に節電できます。

テレビ

便利なりモコン操作で電源のオン・オフをしがちですが、リモコンで電源を切っても電力は消費されます。主電源を切ることを心がけましょう。ただ最近、発売されている液晶やプラズマテレビの中には、リモコンの電源をオフにしても、低電力しか消費しないものも多くなっています。

DVDレコーダー等

録画・再生状態から停止したままの状態にしておくと、大きな電力を消費してしまうので、こまめに電源をオフにしましょう。電源を切ったときに、時計などを非表示にする「表示オフ機能」が搭載されているものもあります。この機能を利用すると待機電力を減らすことができます。

エアコン

暖房使用時はできるだけドアや窓の開閉をなくし、日中は日光を採り入れ、夜間は床まで届く厚手のカーテンを使用して熱の漏れを防ぐようにしましょう。また、フィルターの目詰まりは暖房効果を弱めてしまいますので、2週間に1回はフィルターのお掃除をするよう心がけてください。使用しない春や秋はコンセントをプラグから抜きましょう。

電子レンジ

使用していないときも設定時間などが表示されている電子レンジは、待機電力を消費しています。使用後は、本体が冷めてからプラグを抜きましょう。最近では、待機電力がゼロになる「自動電源オフ機能」が付いている製品もあります。

パソコン

パソコンはプリンターや外付けハードディスクなど周辺機器も多く、その全てのプラグを抜くのはなかなか面倒ですが、最初にご紹介した「スイッチ付タップ」であれば、さほど不便に感じないでしょう。スクリーンセーバーは省エネと思われがちですが、実際には消費電力は下がりず、3Dグラフィックスをつかったものの中にはかえって消費電力が上がってしまうものもあります。

温水洗浄便座

年間を通じて便座の暖房を付けっぱなしにしていませんか？暖かい時期は便座の暖房を切る、あるいは洗浄水の温度を低めに設定すると良いです。長期間使用しないときはプラグから抜きましょう。また、こまめにふたを閉めて、放熱を抑えると節電になります。

製品によって待機電力の個体差があります。プラグを抜く場合は、取扱説明書をご確認のうえ、ご自身の判断でおこなってください。



TOYAスマイル倶楽部事務局

今治市玉川町中村甲677-7

有限会社十弥工務店内

TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183

E-mail : toya-info@toya.co.jp

URL : <http://www.toya.co.jp>